

未然に防止を!

くらしのトラブル

平成12年度 苦情相談増加

平成12年度の消費生活センターへの相談件数は2467件で、前年度に比べ258件(12%)増加しました。相談のうち、苦情相談が前年より366件(19%)増えて、2266件となり、相談全体の92%を占めました。インターネット関連の相談やエステ会社・生命保険会社の倒産に関連した相談が増加しました。また、契約者の職業別では家事従事者が1006件(41%)、年代別では30歳代が607件(25%)と最も多くなっています。

《相談第1位》

新聞の勧誘

平成11年度2位、平成12年度1位と毎年相談の上位を占めています。

《年々増加》

インターネット関連

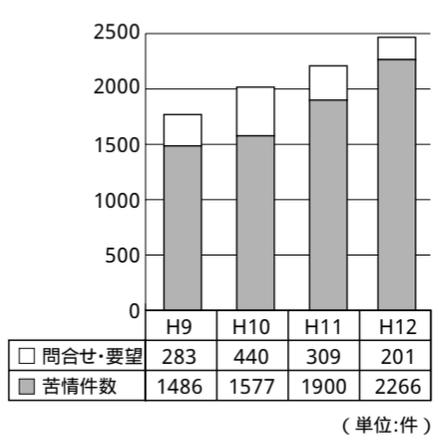
インターネット関連の苦情は10年度6件、11年度52件、12年度80件と年々増加しています。その多くは「使った覚えが無いダイヤルQ2情報や国際電話通話料を請求された」という相談です。

《18倍増》

ツーショットダイヤル

昨年特に目立った相談は、「使用した覚えが無いツーショットダイヤルの情報請求」で昨年の4件から75件と18倍に増えました。突然「ツーショットダイヤルの料金が未納になっていきます。至急、口座に振り込んでください。振り込みがなければ徴収に伺います。またその交通費も請求します」というハガキが送られて来たというもので、使用した覚えがないのであれば支払わないように、また警察にも届け出るように助言しました。業者は電話帳などを見て同じ内容の請求ハガキを無差別に送りつけたようです。

年度別相談件数



《倒産により》

「エステ」生命保険

昨年、大手エステ会社が

品目別多い相談 上位10

順位	H12	H11	品目	件数
1	2		新聞	92
2	11		エステティックサービス	84
3	6		生命保険・損害保険	80
3	9		インターネット関連	80
5	10		賃貸アパート・マンション	78
6	4		サラ金・クレジット	77
7			ツーショットダイヤル	75
8	5		資格講座	70
9	2		クリーニング	66
10	7		学習教材	65

H11年第1位の相談(浄水器)はH12年は第11位です

消費者トラブルのご相談は消費生活センターへ

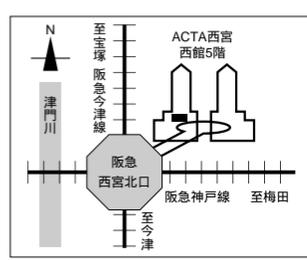
消費生活センターは、悪質商法などで被害にあわれた消費者のための相談窓口です。被害者である消費者が主体的に問題を解決するための情報の提供・あっせんなどを行います。

【相談窓口】
月曜～金曜 午前9時～午後4時30分
(正午～午後1時を除く)
専用電話0798(64)0999

【学習室の貸出】
月曜～金曜、第2・第4土曜 午前9時～午後5時
申込受付 使用日の前月初日から

【資料・情報コーナー】
月曜～金曜、第2・第4土曜 午前9時～午後5時15分
各種パネルの常設展示
インターネットの利用
書籍・ビデオ・リーフレットの常設

(いずれも、祝日・年末年始は休館)



回収済ペットボトルの重さを当てよう! 11月1日の計量記念日にちなみ計量クイズを実施します

家庭から回収されたペットボトルやアルミ缶は、処理センターでいったんブロック状に固めてから処理業者に渡されます。一つ一つは軽いこれらの容器も、数がまとまれば意外と重いかも?

期間中、消費生活センターに展示していますので、備え付けの用紙にて応募ください。

展示場所 消費生活センター資料・情報コーナー
応募期間 11月1日～30日まで
正解者の中から抽選で5名の方に図書券を贈呈します。

(正解者がなかった場合には、一番近い方の中から抽選します)
当選者の発表は、図書券の発送にて代えさせていただきます。

問い合わせは消費生活センター
(0798 69 3158)へ

いつまでもすこやかに暮らす 家の中でのケガを防ごう

交通事故死より多い 高齢者の家庭内事故死

厚生労働省の「人口動態統計」(平成11年)によれば、65歳以上の家庭内の不慮の事故死は、8,268件で交通事故死の4,917件よりも多くなっています。

最近5年間に国民生活センターに寄せられた病院からの事故報告によれば、3,576人もの高齢者が家の中でケガをしています。特に通院や入院が必要な重症のケガが多く、2,839件で、死亡事故も38件ありました。

こんな所にも 危険がいっぱい!

階段

スリッパや靴下を履いているために滑ったり、物を持っているため足元が見えず階段を踏みはずす。

玄関

くつを脱いだり、履いたりするときにバランスを崩したり、転ぶ事故が起きています。

居間

新聞紙、ビニール袋で滑ったり、カーペットのへり、コード、ふとん、などにつまずく。

台所

食用油、やかん、なべなどによるやけど、包丁、コップなどによる切り傷、イスなどからの転落事故。

浴室

浴室マットやすのこ、イス、浴室ブーツなどで滑る。寒い脱衣室、浴室と熱い湯との温度差による死亡事故もあります。